

ハトムギ通信 (第2号)

令和元年 6 月 7 日
アルプス農協管内農業技術者協議会



ハトムギ栽培のポイント ～生育期の除草、病害虫防除～

- ◎ハトムギは初期生育が遅いので、雑草に負けないよう除草対策を徹底しましょう。
- ◎適期培土で発根を促し、生育促進と倒伏防止を図りましょう。
- ◎病害虫防除は適期に、確実に実施しましょう。

播種は 6/20 までに、遅れず実施！



1 生育期の除草

(1) 中耕による除草

除草剤の効果が切れて雑草が発生してきたら、**早めに中耕除草**を行いましょう。
さらに、ハトムギが大きくなる前に雑草が発生してきたら、再度、中耕除草をしましょう。

(2) 薬剤による除草 (中耕で雑草を抑えきれない場合)

薬剤名	適用雑草名	使用時期	薬量	使用方法
バサグラン液剤 (全面散布が可能)	広葉一年生雑草	雑草3～4葉期 但し収穫 45 日前まで (イネ科雑草には効果なし)	薬量 150mℓ/10a、 希釈水量 100ℓ	2回以内
プリグロックスL (うね間処理に限る)	一年生雑草	雑草発生期(出穂期まで) 但し収穫 60 日前まで	薬量 600～1000mℓ/10a、 希釈水量 100ℓ	2回以内 (ハトムギにかけない)

※ 『プリグロックスL』がハトムギにかかると枯れてしまいます。絶対にかからないよう、ていねいに散布しましょう。

2 培土

培土は生育を促進するとともに、除草と倒伏防止に効果があります。
最低 2 回は必ず行いましょう。

- ・1回目培土は、**播種後 30 日頃**を目安に。
- ・2回目培土は、**1 回目培土の 2 週間後頃**を目安に。

播種時に基肥を規定量施用できなかった分は、1回目培土直前に追肥し、直ちに培土する。



1回目培土の様子

3 病害虫防除

- 病害虫被害の早期発見・適期防除に努めましょう。
- 近年、アワノメイガは多発傾向にあるため、確実に防除しましょう。

薬剤名	1回目(6月下旬頃)			2回目(7月上旬頃)		
	薬剤名	倍率(倍)	必要薬量※	薬剤名	倍率(倍)	必要薬量※
	① パダン SG 水溶剤 (収穫 14 日前まで) + ② ロブラール水和剤 (収穫21日前まで)	1,500 1,000	100g 150g	① パダン SG 水溶剤 (収穫 14 日前まで)	1,500	100g
対象病害虫	① アワノメイガ、②葉枯病			① アワノメイガ		
散布量(/10a)	150ℓ(2剤混合)			150ℓ		

※薬剤散布の際は、必ず展着剤(ハイテンパワー10,000倍)を加用する。

アワノメイガの被害茎

茎と葉の付け根付近から茎内に侵入し、内部の髓を食害する。被害茎は枯れ上がる。



葉枯病

楕円形の病斑が、下位葉から上位葉へ進展し、白く枯れ上がる。

